



2022年11月4日

各 位

上場会社名 株式会社 JMS
 代表者名 代表取締役社長 奥窪 宏章
 (コード番号 7702 東証プライム市場)
 問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 桂 龍司
 TEL 082-243-5844

2023年3月期第2四半期連結累計期間における業績予想と実績との差異 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月12日に公表しました2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績に、下記のとおり差異が生じたのでお知らせします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2023年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2023年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異

(2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	29,100	400	400	250	10円23銭
今回実績 (B)	29,975	△44	56	△68	△2円80銭
増減額 (B-A)	875	△444	△343	△318	
増減率 (%)	3.0	—	△85.9	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	28,275	614	683	497	20円37銭

2. 2023年3月期通期連結業績予想の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	60,000	1,200	1,200	900	36円84銭
今回修正予想 (B)	62,000	400	400	200	8円18銭
増減額 (B-A)	2,000	△800	△800	△700	
増減率 (%)	3.3	△66.7	△66.7	△77.8	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	58,169	980	1,126	826	33円83銭

3. 差異及び修正の理由

2023年3月期第2四半期連結累計期間における売上高については、海外で新型コロナウイルスの影響から需要回復の兆しがみられ、円安による円貨換算額の増加もあり、前回予想を上回りました。利益については、需要が回復基調にある中で、原材料価格や電力費、海上運賃が想定以上に高騰したことに加え、円安による仕入取引も不利に働き、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれにおいても、前回予想を下回ることとなりました。

また、2023年3月期の通期連結業績予想については、引き続き、販売の拡大や価格見直し、製造原価の低減及び効率的な事業活動による経費の低減など収益改善を進めるものの、第2四半期連結累計期間の実績に加え、最近の円安傾向や原油価格の動向などを踏まえ、前回公表した業績予想を修正しました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上